

fff サンフレンズだより

理事長 山田知子より
就任のごあいさつ

No. 66 2012. 6. 30.
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833



サンフレンズとともに

はじめまして、このたびサンフレンズの理事長に就任いたしました山田知子です。サンフレンズとのかかわりは、理事・評議員として2004年からです。杉並・老後を良くする会との関わりは学部学生の頃からですので、それなりに長いと申せましょう。初代理事長の一番ヶ瀬康子先生、二代目の大友信勝先生、両先生には長くご指導をいただいたという学恩があり、そういう意味において、サンフレンズは私にとってかけがえのない特別な存在です。理事長は大変荷が重いポストで、身が引き締まる思いです。

さて、2000年以降、わが国の社会福祉のあり方は大きく変化し、利用者が社会福祉サービスの中心にすえられ、地域福祉の重要性が言われています。同時に規制緩和の流れのなかで、社会福祉関連のサービスは、市場化が進み、多様な経営主体が参入してきております。利用者本位といいますが、まだまだ実態はそれを実現するための物的環境、人材の配置などが整っているとは言えませんし、市場化によって激しい競争の荒波に社会福祉、とくに高齢者福祉の現場はさらされて疲弊しているのが現状です。

このような時期にこそ、地域の人々の長い住民運動に支えられ、住み慣れた地域で安心して老いることができることをめざして立ち上がってきた杉並・老後を良くする会の運動の蓄積、また、そういった住民運動の重要性を認識し職場として選んでくれた優秀な職員にささえられて今日まできた社会福祉法人サンフレンズの役割は非常に重要だと考えています。当事者やその家族、地域の住民の方々が、我が事として老後の問題に真正面から取り組み、友愛訪問や配食サービス、小規模多目的施設など、先進的な取り組みを打ち出し、社



会に発信してきたということは、時代を超えて、社会福祉の基本視点、素晴らしいことだと思うからです。これまでの運動の歴史とその蓄積を大切にしながら、職員のみなさんと協力しながら、理事長として法人運営に熱意をもって取り組みたいと思っております。よろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。わたくしが大切にしたい運営のポイントは次の3点です。

第一に、当事者主権を貫こう。

第二に、働く人のワークライフバランスを考え、明るく楽しい職場づくりをしよう。

第三に、関係者および地域のみなさんと日常的に関わり、安心安全の街づくり、そして芸術・文化の発信拠点にもなろう。

皆様の先取の精神に満ちた斬新でユニークなお知恵をお借りして、民主的な運営を目指したいと存じますので、これまで以上にご指導ご協力のほどをお願い申し上げます。

2012年4月

《プロフィール》

日本女子大学文学部社会福祉学科卒業、同大学院文学研究科博士課程前期修了（社会学修士）、北九州市立大学大学院社会システム研究科地域社会システム専攻博士課程修了、博士（学術）

放送大学生活と福祉専攻、埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授を経て、現在、大正大学人間学部大学院人間学研究科教授。テーマは大都市高齢者の生活問題、ジェンダーと社会福祉など。

理事・監事・評議員・相談役の紹介



法人の重要事項を審議する理事・監事・評議員・相談役は2年の任期を終え、2012年4月2日から新しい体制でスタートしています。今号では、理事・監事・評議員・相談役の「思い」や「期待」などを、ご挨拶として皆様にお届けします。

温故知新。杉並・老後を良くする会の思いを大切に、この地域（土）にあった風（文化）をめざし、微力ながら任を果たしていきたいと思えます。

理事長職務代理 安藤 雄太

法人設立者の方々の想いや法人の歴史を、職員と一緒に学びながら、理念に沿った運営を進めてまいります。宜しくお願いいたします。

理事 土屋 俊彦

今年は、上井草園設立15周年を迎えます。サンフレンズには、厳しい局面が続いていますが、将来に亘り職員が安心して働ける法人であり続けてほしいと願っています。

理事 吉田 直子

「[地域福祉のニーズに応え職員を元気に]と後援会ができて10年。心新たに楽しい企画、ユニークな研修、共に考えませんか？この指とまれ！」

理事 河 周子

本年3月末をもって、10年間担当させてもらった理事長を交代させていただきました。4月から、理事の一人として法人運営に当たります。

理事 大友 信勝

サンフレンズの理念の一つである「どこまでも対等に」という思いを大切に、役割を担っていきたく思います。宜しくお願いします。

理事 森山千賀子

四つの会の元祖「杉並・老後を良くする会」が、活動を閉じました。サンフレンズはこの先輩の考え方をいつまでも、続けて行ってほしいと思います。

理事 田寺 俊治

介護保険は大切な制度ですが、度重なる改正で使い勝手が厳しくなるばかりです。こんな時だからこそ、福祉に関わる全ての人たちが知恵を出し合い支えあっていきたいものです。お役に立てれば幸いです。 理事 大井 妙子

管理職のみなさんに、特にお願いしたいことがあります。職場の若い職員の心と体の健康管理には、常に気を配るように努めてください。

監事 山崎 和一

一人ひとりの人権を守る福祉施設としての役割を果たすべく、全役職員が学び、話し合い、考え行動しあうサンフレンズの職場を求めて頑張ります。

監事 佐野 英司

杉並・老後を良くする会念願の社会福祉法人を設立し、今日まで運営してきた事は皆様の多大な熱意と努力によるものです。区の高齢者福祉の充実と発展の為に一層の成果を遂げられますようお祈りします。 評議員 笹原 典子

上井草園が開設されると同時に、ボランティアとして参加しています。利用者さんを尊重し、また地域貢献もできる法人を目指してください。

評議員 織田 宏子

年金問題始め介護、福祉に関する実態はお粗末極まりなく、サンフレンズに勤務されている職員の方々がより意欲的に職務に取り組めるよう、待遇面の改善に努力できればと思っています。

評議員 松井 茂夫

私自身微力者でございますが、利用者、職員そして法人のため、お役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

評議員 石毛 栄一

ご利用者およびご家族の気持ちを大切に区民の方の期待に応えられる施設づくりのお手伝いができることを願っています。

評議員 中田 英美子

物質的な豊かさに浸りきっていた私たち、震災、原発事故の洗礼を受けて何が大事か、プータンの国是「国民総幸福」を真剣に考えたいと思います。

評議員 林 知子

失敗と喜びが毎日綴られます。いつも立ち上がり、顔を毅然と前に向けられるのは、サンフレンズの理念があるからです。明日も頑張ります。

評議員 藤山 邦子

この地にも、新しい事業所が増え競争社会になってきました。サンフレンズの理念を再確認し、働く人、入居する人の希望になって欲しいと思います。

評議員 四ツ橋 昭子

昨年9月より101歳の義母が特養(上井草園)でお世話になっています。介護保険制度の制約があり、厳しい現実ですが、理念を共有し、共に育てたいですね。

評議員 金子 直子

相談役の寺山です。杉並区に住んで40年、専門のリハビリテーションの立場からお役に立ちたいと思っておりますが、毎週3日は大阪の大学ですので制約があるのが難点です。

相談役 寺山 久美子

“困った時のSOS”という新風が上井草から吹いてきました。何よりうれしい思いです。地域福祉の風が上井草から力強く杉並区中を駆け回ることを期待しています。

相談役 岡本 波津子

2011年度事業報告

社会福祉法人サンフレンズの2011年度決算案と事業報告案は、評議員会を経て理事会で承認されました。紙面の都合により、事業報告は法人全体のものを抜粋して掲載します。また、決算は収支計算書ならびに事業活動計算書と貸借対照表を掲載します。

2011年度事業報告総論

2011年度は利用者の人権問題に対し、法人全体の責任と運営のあり方の改革に取り組む年としました。預り金に関しては、改正した預り金等の規程に基づき、事務手続き、チェック体制が取られ定着しています。ただし、預り金が高額な場合等もあり、今後後見人制度の活用も必要です。

しかしながら、事務手続き等の対処にとどまり、人権尊重を全うしていく体制について抜本的に取り組むことができませんでした。

2011年度当初に上司による部下への言動問題が起こり、その問題を人権問題として速やかに対応できなかったために、年度を通し、その問題解決と検討、組織体制の立て直しに終始しました。

このことは、前年度の教訓から大きな課題を見据えながらも、利用者・職員の人権を擁護する組織体制が築きあげられていないことの証左であり、法人が問われています。

当事者との話し合い、関係部署の職員との話し合い、運営会議、管理職会議、立ち上げた組織検討委員会そして理事会と話し合いを重ねました。

その結果、人権の重大な問題であり、法人組織全体の構造的な問題と捉え、対策を講じていく必要があるとの協議に至りました。改革・改善していくには時間がかかりますが、以下のいくつかの提案、協議をしました。

- ・全員の職員が互いにフォローする、能力に差のある職員を異物として排除しない組織づくり
- ・人事を司る事務局のあり方の見直し
- ・事務局のコーディネーション業務の改善
- ・権限を集中させない業務のあり方
- ・閉鎖的でない、いかに社会的に開かれている法人であるか、職員が色々な人に見られている意識をもつ環境づくり

- ・ハラスメントの予防、回避、早めの対処の必要性を組織として認識する。ハラスメントの防止規程に着手する

- ・そのための経営層、管理職の強い決意とリーダーシップが必要

特に管理職のマネージメント力が問われています。早期に対処していく問題認識や職員の個性、能力差が当然ある組織でのコミュニケーションを意識的に図っていく必要があります。

1. 運営面 理念の実現をめざして～人権尊重の実践

(1) 管理・組織体制の見直し

- ①管理・組織体制の見直し
- ②倫理綱領の作成
- ③人権尊重の具現化
- ④職場環境の改善

(2) 地域福祉の構築

- ①「困ったときのSOS 地域で恩送り」事業の試行開始

(3) 人材育成

- ①研修の体系化、職員育成等のシステム化
- ②サンフレンズ創設者との勉強会
- ③職員が働きやすい環境づくり

(4) 大規模災害も想定した防災体制の構築

災害時等、職員に一斉に緊急通報するシステムを導入しました。若干の調整が残っていますが、2012年度に実践できる体制にしていきます。

BCP(災害時等の事業継続計画)を先に作成した事業所もあり、防災委員会で勉強会を行いました。法人全体で、また地域とともに行う地域防災は2012年度に引き継ぎます。

2. 経営の長期安定化をめざして

サンフレンズ善福寺は、経営改善に取り組み、改善していますが、マイナス収支が続いています。

今後の法人経営、運営に関わる課題ですので、サンフレンズ善福寺の収支改善を見定め、他の事業所の収入増の見通し、さらなる委託契約の縮小や契約の一本化を進め、支出の削減にも取り組む必要があります。

2011年度決算の概要報告

2011年度決算の概要を、事業活動計算書に基づいて報告します。

年度当初、第1四半期時点での事業実績が、前年度比で落ち込んでいたことから厳しい決算報告となると予想され、年度途中の予想では当期活動収支差額を△20,000千円と見ていました。しかし、決算実績では、1,713千円のプラスと僅かではありますが、黒字決算となりました。その主たる要因は、収入が増えたことではなく、支出が少なかったことによるものです（予想値との差：人件費△16,500千円、一般管理費△1,900千円等）。

1. 収入について

- ①介護福祉施設介護料収入（特養の介護報酬）は、前年度比+8,528千円と増加しました。内訳は上井草特養が+7,322千円、善福寺特養が+1,206千円でした。
- ②居宅介護料収入（短期・デイ・訪問介護の介護報酬）は、前年度比△32,860千円と大幅に減少しました。マイナスは、5つのデイサービスのうち、和泉△10,010千円、松ノ木△6,520千円、永福△7,859千円の3ヶ所、さらに訪問介護△9,032千円、上井草園の短期入所△4,284千円でした。
- ③居宅介護支援介護料収入（支援センター、ケア24の介護報酬）は、全体で前年度比+6,132千円と増加しました。支援センターでは上井草は

△1,829千円でしたが、新高円寺が+5,297千円でした。ケア24は予防プランの増加を反映して上井草が+1,941千円、善福寺が+229千円でした。

2. 支出について

- ①人件費支出は、前年度比△4,168千円となりました。管理職が不足して兼務が解消しなかったこと、病気休業中の職員が複数出ていることから低くなったといえます。また、処遇改善交付金の期末支給額が2011年度は必要なかったことも要因といえます。

- ②経費支出は、前年度比+4,128千円となりました。主な増加は、事務消耗品費+2,055千円、委託費が+5,306千円です。事務消耗品の増は介護保険請求システムの入替に伴うパソコンの購入（約40台）で+2,948千円がありました。また、委託費の増では派遣職員に関わる費用が+662千円、配食サービスの祝日実施開始による委託費が+1,635千円等でした。

3. 当期活動収支差額について

当期活動収支差額は、当該年度の法人の収益と考えるものですが、冒頭に述べたように、1,713千円の黒字となり、3年連続で黒字決算とすることができました。但し、前年度比では△11,832千円であり、課題を残すものとなりました。

直近3ヵ年の収支状況(事業活動収支算書から)

単位：円

	2009年度	2010年度	2011年度
事業活動収入計	1,487,313,024	1,522,080,585	1,504,502,273
事業活動支出計	1,482,031,570	1,513,054,385	1,506,611,059
事業活動収支差額	5,281,454	9,026,200	△2,108,786
事業活動外収支差額	3,365,824	4,528,374	2,133,084
経常収支差額	8,647,278	13,554,574	24,298
特別収支差額	△6,782,732	△9,291	1,688,965
当期活動収支差額	1,864,546	13,545,283	1,713,263

2011年度 決算

収 支 計 算 書

(自)平成23年 4月 1日

(至)平成24年 3月31日

法 人 名 社会福祉法人 サンフレズ

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
経常活動による収支			
経常活動による収支(収入)			
介護福祉施設介護料収入	370,554,000	370,145,819	408,181
居宅介護料収入	668,972,000	665,547,743	3,424,257
(介護報酬収入)	602,076,000	598,373,051	3,702,949
(利用者負担金収入)	66,896,000	67,174,692	△ 278,692
居宅介護支援介護料収入	90,153,000	89,110,628	1,042,372
利用者等利用料収入	165,953,000	165,562,693	390,307
その他の事業収入	200,482,000	201,013,312	△ 531,312
寄付金収入	1,049,000	1,258,149	△ 209,149
借入金利息補助金収入	2,304,000	2,304,000	0
受取利息配当金収入	930,000	901,374	28,626
事業外収入	8,083,000	7,723,616	359,384
雑収入	1,225,000	5,625,848	△ 4,400,848
経常活動収入計(1)	1,509,705,000	1,509,193,182	511,818
経常活動による収支(支出)			
人件費支出	1,041,201,000	1,024,745,865	16,455,135
経費支出	452,723,000	451,437,087	1,285,913
(直接介護支出)	199,609,000	198,274,127	1,334,873
(一般管理支出)	253,114,000	253,162,960	△ 48,960
利用者負担軽減額	633,000	623,826	9,174
徴収不能額	36,000	71,314	△ 35,314
借入金利息支出	7,533,000	7,537,421	△ 4,421
事業外支出	4,140,000	4,050,042	89,958
雑支出	0	0	0
経常活動支出計(2)	1,506,266,000	1,488,465,555	17,800,445
経常活動資金収支差額(3=1-2)	3,439,000	20,727,627	△ 17,288,627
施設整備等による収支			
施設整備等による収支(収入)			
設備資金借入金収入	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	592,000	△ 592,000
施設整備等寄付金収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	1,475,620	△ 1,475,620
施設整備等収入計(4)	0	2,067,620	△ 2,067,620
施設整備等による収支(支出)			
固定資産取得支出	28,586,000	12,969,036	15,616,964
施設整備等支出計(5)	28,586,000	12,969,036	15,616,964
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 28,586,000	△ 10,901,416	△ 17,684,584
財務活動による収支			
財務活動による収支(収入)			
長期運営資金借入金収入	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0
設備資金借入金元金償還補助金収入	3,578,000	3,578,000	0
設備資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
積立預金取崩収入	0	0	0
他会計区分繰入金収入	0	0	0
会計区分外繰入金収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
財務活動等収入(7)	3,578,000	3,578,000	0
財務活動による収支(支出)			
設備資金借入金元金償還金支出	23,710,000	23,710,000	0
長期運営資金借入金元金償還金支出	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0
積立預金支出	0	0	0
他会計区分繰入金支出	0	0	0
会計区分外繰入金支出	0	0	0
その他の支出	0	0	0
財務活動等支出(8)	23,710,000	23,710,000	0
財務活動資金収支差額(9=7-8)	△ 20,132,000	△ 20,132,000	0
予備費(10)	2,704,000	0	2,704,000
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	△ 47,983,000	△ 10,305,789	△ 37,677,211
前期末支払資金残高(12)	624,771,000	624,771,338	△ 338
当期末支払資金残高(13=11+12)	576,788,000	614,465,549	△ 37,677,549

事業活動計算書

(自)平成23年 4月 1日

(至)平成24年 3月31日

法 人 名 社会福祉法人 サンフレズ

(単位:円)

科目	前年度	当年度	増減
事業活動収支の部			
事業活動収支の部(収入)			
介護福祉施設介護料収入	361,617,191	370,145,819	8,528,628
居宅介護料収入	698,407,662	665,547,743	△ 32,859,919
(介護報酬収入)	628,498,461	598,373,051	△ 30,125,410
(利用者負担金収入)	69,909,201	67,174,692	△ 2,734,509
居宅介護支援介護料収入	82,978,840	89,110,628	6,131,788
利用者等利用料収入	175,484,249	165,562,693	△ 9,921,556
その他の事業収入	189,910,835	201,013,312	11,102,477
その他の収入	529,660	196,800	△ 332,860
国庫補助金等特別積立金取崩額	13,152,148	12,925,278	△ 226,870
事業活動収入計(1)	1,522,080,585	1,504,502,273	△ 17,578,312
事業活動収支の部(支出)			
人件費	987,672,865	983,505,185	△ 4,167,680
経費	447,309,458	451,437,087	4,127,629
(直接介護費)	204,998,037	198,274,127	△ 6,723,910
(一般管理費)	242,311,421	253,162,960	10,851,539
利用者負担軽減額	589,181	623,826	34,645
減価償却費	39,966,563	35,363,011	△ 4,603,552
徴収不能額	0	49,541	49,541
引当金繰入	37,516,318	35,632,409	△ 1,883,909
事業活動支出計(2)	1,513,054,385	1,506,611,059	△ 6,443,326
事業活動収支差額(3=1-2)	9,026,200	△ 2,108,786	△ 11,134,986
事業活動外収支の部			
事業活動外収支の部(収入)			
借入金利息補助金収入	2,448,000	2,304,000	△ 144,000
受取利息配当金	1,056,450	901,374	△ 155,076
有価証券売却益	0	0	0
寄付金収入	3,809,700	1,258,149	△ 2,551,551
その他の事業活動外収入	8,511,863	7,723,616	△ 788,247
雑収入	1,105,327	1,533,408	428,081
事業活動外収入計(4)	16,931,340	13,720,547	△ 3,210,793
事業活動外収支の部(支出)			
借入金利息	8,013,515	7,537,421	△ 476,094
有価証券売却損	0	0	0
資産評価損	0	0	0
その他の事業活動外支出	4,389,451	4,050,042	△ 339,409
雑損失	0	0	0
事業活動外支出計(5)	12,402,966	11,587,463	△ 815,503
事業活動外収支差額(6=4-5)	4,528,374	2,133,084	△ 2,395,290
経常収支差額(7=3+6)	13,554,574	24,298	△ 13,530,276
特別収支の部			
特別収支の部(収入)			
施設整備等補助金収入	3,578,000	4,170,000	592,000
施設整備等寄付金収入	0	0	0
固定資産受贈額	0	176,999	176,999
固定資産売却益	1,535,618	1,475,618	△ 60,000
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
他会計区分繰入金収入	2	229,383	229,381
会計区分外繰入金収入	2,174,072	0	△ 2,174,072
その他の特別収入	42,553	40,769	△ 1,784
特別収入計(8)	7,330,245	6,092,769	△ 1,237,476
特別収支の部(支出)			
基本金組入額	0	0	0
国庫補助金等特別積立金繰入額	3,578,000	4,170,000	592,000
固定資産除売却損	125,424	4,421	△ 121,003
他会計区分繰入金支出	2	229,383	229,381
会計区分外繰入金支出	2,174,072	0	△ 2,174,072
その他の特別損失	1,462,038	0	△ 1,462,038
特別支出計(9)	7,339,536	4,403,804	△ 2,935,732
特別収支差額(10=8-9)	△ 9,291	1,688,965	1,698,256
当期活動収支差額(11=7+10)	13,545,283	1,713,263	△ 11,832,020
前期繰越活動収支差額(12)	747,192,652	760,737,935	13,545,283
次期繰越活動収支差額(13=11+12)	760,737,935	762,451,198	1,713,263

貸借対照表
平成24年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減	勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減
流 動 資 産	(708,537,056)	(713,596,692)	(5,059,636)	流 動 負 債	(113,523,408)	(127,113,660)	(13,590,252)
現 金 預 金	496,304,441	501,303,521	4,999,080	短期運営資金借入金			
有 価 証 券	65,250	73,950	8,700	未 払 金	80,575,246	90,645,101	10,069,855
未 収 金	209,460,869	208,159,815	△1,301,054	施設整備等未払金			
未 収 補 助 金	291,658	316,940	25,282	預 り 金	4,377,162	9,808,929	5,431,767
貯 蔵 品				前 受 金		630	630
立 替 金	55,141	237,592	182,451	他会計区分借入金			
前 払 金	2,188,422	3,504,874	1,316,452	会計区分外借入金			
他会計区分貸付金				仮 受 金			
会計区分外貸付金				賞 与 引 当 金	28,571,000	26,659,000	△1,912,000
仮 払 金				その他の流動負債			
その他の流動資産	171,275	0	△171,275	固 定 負 債			
固 定 資 産	(1,353,222,356)	(1,335,802,137)	(△17,420,219)	固 定 負 債	(418,066,560)	(399,157,740)	(△18,908,820)
基 本 財 産	(1,202,372,244)	(1,181,021,411)	(△21,350,833)	設備資金借入金	373,320,000	349,610,000	△23,710,000
土 地	794,988,600	794,988,600	0	長期運営資金借入金			
建 物	392,383,644	371,032,811	△21,350,833	他会計区分長期借入金			
基本財産特定預金	15,000,000	15,000,000	0	長 期 預 り 金			
				退職給与引当金	44,746,560	49,547,740	4,801,180
				その他の固定負債			
その他の固定資産	(150,850,112)	(154,780,726)	(3,930,614)	負債の部合計	531,589,968	526,271,400	△5,318,568
土 地				純 資 産 の 部			
建 物	6,290,899	5,728,554	△562,345	基 本 金	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)
構 築 物	14,454,137	13,222,748	△1,231,389	国庫補助金等特別積立金	(704,518,509)	(695,763,231)	(△8,755,278)
機 械 及 び 装 置				そ の 他 の 積 立 金	(49,913,000)	(49,913,000)	(0)
車 輛 運 搬 具	12,017,993	12,720,809	702,816	移行時特別積立金			
器 具 及 び 備 品	19,244,928	19,692,034	447,106	そ の 他 の 積 立 金	49,913,000	49,913,000	0
建 設 仮 勘 定				次期繰越活動収支差額	(760,737,935)	(762,451,198)	(1,713,263)
権 利	358,400	358,400	0	次期繰越活動収支差額	760,737,935	762,451,198	1,713,263
投 資 有 価 証 券				(うち当期活動収支差額)	(13,545,283)	(1,713,263)	(△11,832,020)
他会計区分長期貸付金							
移行時特別積立預金							
移行時繰越債特別積立預金							
その他の積立資産	49,913,000	49,913,000	0	純資産の部合計	1,530,169,444	1,523,127,429	△7,042,015
その他の積立預金							
その他の固定資産	48,570,755	53,145,181	4,574,426	負債・純資産合計	2,061,759,412	2,049,398,829	△12,360,583
資 産 の 部 合 計	2,061,759,412	2,049,398,829	△12,360,583				

脚注

	前 年 度 末	当 年 度 末
1 減価償却費の累計額	225,688,438 円	252,886,713 円
2 徴収不能引当金の額	1,186,690 円	1,323,517 円
3 移行時特別積立金の積立不足額	0 円	0 円

2011年度事業報告書・決算書、2012年度事業計画書・予算書の全文は、各事業所に備えてあります。
いつでも自由に閲覧していただけます。

「サンフレンズ後援会 青木利元会長からのメッセージをお届けします」

昨年サンフレンズ後援会設立 10 周年という節目の年を迎えた私たちは、原点に立ち返って来し方行く末に思いをはせ私たちの役割を検討しました。そして、私たちの役割は、単にサンフレンズの財政的支援の一翼を担うだけではなく、サンフレンズを地区につなげる支援を行うことであることを確認しました。

私たちは、サンフレンズのスタッフの皆さん、ボランティアの皆さん、そしてSOS事業の担い手の方々と手を携えて、「地域のために、地域とともに、地域に根を張って福祉サービスを提供するサンフレンズ」の実現の応援をしていきたいと思えます。

このためには、まずサンフレンズと私たち後援会が組織的な協力関係を持つことが必要になります。具体的には、2012 年度から、サンフレンズの中に後援会の事務を担当して下さるスタッフが定められるとともに、後援会の幹事会（役員会）の中にも事務局の機能を設置し、サンフレンズとの対応窓口の役割を果たしてもらいます。また、幹事会メンバーにサンフレンズのスタッフの方に加わっていただきます。将来的には、ボランティア



の方にも加わっていただきたいと思います。

さらに、ボランティアの方々、SOS事業担い手の方々と情報交換の機会を持つようにします。こうして3者の横の連携により「コミュニティ・ベースト（Community-based）」のサンフレンズを推進することによって、私たちはサンフレンズのすそ野を豊かに広げるお手伝いができるのではないかと考えています。

＜サンフレンズ後援会入会のごお願い＞

地域の皆様方のご要望に添ったサービスを目指し日々努力を重ねる法人に「暖かいお心のひとしづく」をお寄せください。

個人会員：一口 2,000 円以上

団体会員：一口 10,000 円以上

同時に、ご寄付もお待ち申し上げております。

感謝録：サンフレンズ後援会にご寄付、会費を納入くださった方々に、感謝を申し上げます。

期間：2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日まで（あいうえお順に掲載させていただきます）

ご寄付をいただいた方：大西久江様、金子功子様、北村耕作様、田邊紀行様、野崎賢様、福田たま様、宮本正勝様、山内力様、元友愛の灯協会様（9 名）

個人会費を納入していただいた方：青木利元様、秋元章宏様、安藤和子様、安藤正様、井垣節子様、石村延枝様、伊藤弘武様、伊藤裕子様、稲垣義伸様、井上貞子様、今井弘様、今西健二様、岩崎美穂様、岩松彰様、恵美加子様、江村三冬様、大坪幸子様、大友信勝様、大西久江様、大場栄作様、大場宏一様、大場文子様、岡本利子様、岡本波津子様、小澤久子様、織田宏子様、桂田いと様、金子功子様、金行直子様、亀倉正子様、河周子様、河潤之介様、川合美智子様、河邊尚之様、きくや青果店様、岸岡秀直様、岸野恵子様、北村耕作様、桑原七重様、小泉やすお様、小林五十鈴様、小林牧子様、小松悦子様、小松原昭一郎様、坂本初江様、笹原典子様、佐藤充弘様、佐野晴起様、篠田阿津子様、篠原ミヨ様、志磨成也様、志磨陽子様、清水明子様、清水わか子様、白川すみ子様、杉浦光子様、杉浦幸俊様、高月三世子様、高橋勤様、高橋史子様、滝本保子様、田寺儉治様、田寺由紀様、田邊紀行様、寺沢正太良様、戸澤吉江様、鳥井祥子様、中島太吉様、中田斐子、中田英美子様、中林起く代様、中村滋男様、中村夫美子様、中山直芳様、中山道子様、仁平正夫様、野崎賢様、羽場令人様、福原美智枝様、藤山邦子様、伯耆原功様、星野絵里様、前田逸子様、前田達夫様、間世田美代様、松尾廣高様、三浦あさ様、三谷一晃様、森道夫様、山内力様、山崎和一様、山崎眞美様、八畠年子様、山本智様、横田英夫様、横谷サト子様、吉岡順一様、四ツ橋昭子様、若山大地様、匿名希望 3 名（計 102 名）

団体会費を納入していただいた方：新しいホームをつくる会様、井荻地区民生委員協議会様、上井草商店街振興組合様、元杉並・老後を良くする会様、鈴木組様（5 団体）

「杉並・老後を良くする会」に感謝を込めて・・・

サンフレンズの設立母体 3 団体の一つ『杉並・老後を良くする会』が 40 年の歴史を閉じ、6 月 10 日に杉並会館にて感謝のつどいが開催されました。



〈設立時代代表白川すみ子さんと現代表河周子さん〉

「社会福祉サービスが未整備な中、“自分達の老後はどうなるの”と集まった主婦たちが協力し、勉強を重ね運動してきました。専門家・行政・社協と沢山の力をお借りしました。中でも鮮明に残っているのは小規模多目的施設の運動です。“運動、ボランティア活動が今こそ必要なときに、なぜ会を閉じなければいけないの？”との声を戴いています。今後は 4 つのボランティアグループとして活動します。また高齢者として当事者でなければ言えないことを言い続けます。」とサンフレンズの理事でもある河周子代表の挨拶に始まった「杉並・老後を良くする会」の“感謝のつどい”。

会場全体はその先駆的で精力的な活動に対し、「杉並において、日本の福祉において、歴史的な市民運動であった」と心に深く受け止め、「二度と同じことはできないのでは」という感慨と深い敬意に満ちていました。

以下来賓の方々のお言葉です。

〈元東京都副知事 金平輝子さん〉「高齢社会はまだ先のことと行政が考えていたとき、既に問題と感じ活動していた市民がいました。目から鱗でした。」

〈杉並区保健福祉部部長 長田齋さん〉「先駆的活動に心より敬意を表します。杉並にまた新しい市民活動が育ってほしいです。」

〈元都社会福祉協議会 小島セツ子さん〉「地域に根ざした福祉活動に対して、白川すみ子さんが東京都助成財団賞第 1 号を受賞されました。」

〈区社会福祉協議会 伊藤重夫さん〉「“老後”なくして杉並のボランティアは語れず、ボランティア活動の草分けでした。」

〈新しいホームをつくる会 松浦一郎さん〉「“余力を感じさせる余韻型の解散”として、今後も違った形で活動されると思います。」

そして、「杉並・老後を良くする会」の精神を引き継ぐサンフレンズとして、前、新理事長が解散を重く受け止め、決意を表しました。

〈サンフレンズ前理事長 大友信勝〉「一番ヶ瀬康子サンフレンズ初代理事は“わが国の歴史の中で住民運動の中から作られた当法人の意義と使命”を伝えてきました。その思いを受け止め、歴史的・社会的に発展させなければなりません。」

〈サンフレンズ新理事長 山田知子〉「30 年前、赤ちゃんをおんぶした女性が広報誌を作成するのに輪転機を回していたのが印象的でした。生活に根ざし、自分たちの生活を守る活動でした。これからは、その発想・運動や新しい地域活動を発信する役割を、サンフレンズが展開していきます。」

会員である鳥井ご夫妻の演奏会の後、ご夫妻の伴奏で全員が合唱しました。合唱を聞きながら、「杉並・老後を良くする会」は、困難に立ち向かいながらも、いつも会員たちの笑い声と歌が活動を伴奏していたのでは・・・と思いました。

最後に若い職員の感想をお伝えして、サンフレンズの理念を継承していく宣言といたします。

「サンフレンズの職員として、更に幹太く、葉を繁らせていけるよう成長したいと思います。」「サンフレンズで働けることに誇りを感じました。歴史的瞬間に立ち合わせていただき光栄です。」



〈本当にありがとうございました〉

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2012年1月1日から5月31日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》井出康子様・保谷和子様・元杉並・老後を良くする会様・宇田川桂子様・伊藤弘武様・江連みね子様・渡邊智恵子様・松尾廣高様・匿名希望9名

(寄付金のお預かり後、2週間以内に本部事務局より領収書を郵送いたします。届かない場合はお手数ですが、本部事務局までご連絡をお願いいたします。)

《物品等》井口孝子様・丹崎慶子様・桧垣多摩子様・大久保秀男様・柳館ハナ様・鬼沢浄子様・岡本通男様・森島富美子様・遠藤将三郎様・宗像照子様・奥田文子様・扇谷町子様・匿名希望20名

ボランティア紹介 第51回

心と心をつないで



<自然と人が大好きな長谷川恵美子さん(右下)>

今回は、13年間にわたり上井草ふれあいの家の書道、フラダンス、日舞、食育と幅広くプログラムに関してくださっている長谷川恵美子さんをご紹介します。

長谷川さんは小学校の校長を退職後、書道・日舞・フラダンス等、習い覚えたことを趣味で終わらせず同好会を立ち上げ、地域の友人と一緒にボランティア活動を始められました。「元気なうちに役に立ちたいと言う仲間に恵まれ、楽しく活動できることが幸せ」と笑顔で語っていただきました。

書道は字が上手になるための技術を教えるのではなく、墨と紙の白黒の世界を楽しむことを第一に考える長谷川さん。季節の言葉を書にして、言葉から人の心を感じてもらえればと心を配ります。

フラダンスは、ご利用者・職員も一緒にフラの風に乗ってのびのびと踊ります。ハワイ南国の雰囲気はひたれるようにとの願いをこめて、衣装や髪飾りも全てメンバーの手作りです。職員が編成しているウクレレ隊との共演も数回行っており、結婚する職員を手作りの花のレイで祝福してくだ

さった時は、ハワイの結婚式のように感動的でした。松ノ木ふれあいの家、サンフレンズ善福寺にも訪問し、ふれあいの輪が広がっています。

日舞は老人会クラブ、盆踊り、民謡グループの方々と一緒に出演されています。納涼祭では盆踊り仲間の森さんが教えてくださった、大阪ラブソディが利用者の人気となり納涼祭の定番になりました。

食育では、大きな人形を使っでの栄養講習をしていただきました。都の教育相談で役員を7年間されていた経験を生かし、不登校の子どもたちの生活指導や老人を1人にしない友愛活動等で活躍されている長谷川さん。これからも、サンフレンズを末永く応援してください。



<日舞(華扇)を優雅に(右:長谷川さん)>

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03(3394)9833

FAX : 03(3394)9834

担当 : 河野・鳥羽・中山

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp